

大政大臣三條實長致

長官也

長官也

三年十二月十日

三等出仕

六等属但探寄上調

書記官

記録課

函館市街火災ノ義上申

當使管下函館市街本月六日火災ノ義上申

寫添乙申而ニ指回ラシテ不取敢上申候事右出

火ノ概況ハ記ノ通有之候趣函館支廳ヨリ申

越候條畧同添以段再上申候也

明治十二年十月廿三日 開拓長官里田清隆

太政大臣三條實美殿

函館火災概況

十二年十月廿三日 星烈水(海軍)午後八時至函館

板江町(出火原因不明)より出火 消防支隊等一切論官使

人民連一馳け走り消防に尽力カスト 尾尾列(南東)

ニシテ 燄端ヲ見せし 飛火忽チ四方ニ散ル 火勢一層猛

烈ニシテ 消防支隊等殆トキヨウ東ニテ其街ヲ施ス

ヲ得ガルノ量況ナシニ 警署官入集ル 一層消防に力

カセシムルモ 力ヲ盡シ 烈ニシテ火勢愈々熾ニ 捕り支

隊近傍ニ及ツテ 官使一同支隊 引揚其消

防に尽力シテ 燄端ニ延焼ノ災ヲ免ル





得々ト是凡中街ニ追テ延燒シテ山並高ニ至リ七ノ  
午前四時過リ及ニ午漸ク能火ス燒失町石其他尤。

燒失町石

堀江町

地藏町

船場町

内間町

東濱町

仲濱町

大町

富岡町

松蔭町

妻名町

山ノ上町

天祐町

船見町

駒止町

甚町

山並高町

元町

合三町

上大子町

下大子町

又土屋町

仲土屋町

上杉町

下杉町

下新町

船場町

芝居町

芝居町

梅ヶ丘町

常盤町

板町

片町

神宮橋町

官舎（地庫）之見 建築物失火所

叶同館 官立病院

専任事務館（社務） クラブ 建築中

時間学校 高野女子校

第二女子学校 杉原女子校

陣羽所 常盤女子校

おろろ習者 電信局

郵便局 支店橋の板屋三棟

談話所（課） 外田八屋宅七

第百十七回之入り 草野女子校の支店及同世社

三井銀行 廣孝商會

三子女會社 運漕社

少海社 以湖社

社務委員会 社務所

八幡子小校 寺三

高野女子校備

右戸政子（同）千代子

外

土蔵字之棟 石蔵之棟

板蔵四号字之棟 陣羽所之棟



電信柱の由

煙死人

三ノ人

類焼ノモノ一時ノ立退場ヲ諸學校寺院等ノ指テ  
一所ノ設ケ各所ノ掲示レ次テ因下ノ急ヲ救シ局  
ノ林出シラナシ官吏及區吏等ヲ派シテ此等ノ  
突施上不便ナラシムニ注シテ

今日ノ場合ニ電信ハ必要用ナリヨリ該ノ局ノ設  
場スルヤ直ラシ中國橋畔民家ヲ借上ケ飯リニ電  
信器械ヲ据付通信ヲ取扱ハレム

類焼ノ民ノ救助方并日用物品木材等并續ノ方法。

○シ設ク其缺を云ハ汽船ヲ青森秋田へ回シ物品購

買方ニ從事シ其他車ヲ運搬スルノ困難ヲ俾テスル

者ニテハ鐵道ノ所南幸秋田ノ救シ赤十字會ノ道

一防ノ注意

乙卯年百三拾號

長官

三筆出仕

書記官

雇外國人解雇、儀上申

當使雇札幌農學校教師兼土木師米國人

ウキリアム、ウキリル儀本月十九日満期解雇

儀名此後上申候也

明治十二年十二月廿九

南招長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

十二年十二月廿九  
九字属首因義國酒

記録課

外事係

年八月八日